

あか おとうと たす 赤ちゃんの弟を助ける

ルーシー・スティーブソン・イーウェル
(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話は、南アフリカでの出来事です。

ロシアには生まれたばかりの弟がいます。リアムといます。かみの毛は黒色で、手と足はとても小さいです。とってもかわいいです!

でも、家族の中に赤ちゃんがいるとつらいこともあります。お母さんとお父さんは、今はいつもいそがしいです。それにリアムはよく泣きます。

「ママ、お話を読んでくれないか?」ロシアはたずねました。

「リアムをお風呂に入れなきゃならないの」とお母さんは言いました。「アリアナと一緒に読んだらどうかしら。」

ロシアは妹と一緒にゆかにすわりました。二人は本のページをパラパラとめくっていききました。でも、お母さんがいないと何かがちがうのです。

「パパ、一緒にゲームをしてくれないか?」ロシアはたずねました。

「仕事に行く前に、ママが赤ちゃんのお世話するのを助けなきゃいけないんだ」とお父さんは言いました。

ロシアはしかめっ面になりました。お母さんとお父さんには、ロシアのための時間がないのです! いつもリアムの世話をしています。

間もなく、お父さんは仕事に出かけました。お母さんはリアムをねかしつけました。そしてロシアとアリアナと

いま、ロシアのために
時間を取ってくれる人は
だれもいません。



一緒にソファーにすわりました。とてもつかれているようです。

「最近(さいきん)はリアムのことでずっといそがしいわね」とお母さんが言いました。「少し(すこ)さみしかったかしら?」

ロシアはうなずきました。泣きたくなりました。

お母さんはロシアとアリアナをだきしめました。「リアムはまだとても小さいから、助け(たす)けがたくさん必要(ひつ)なの。あなたたち(あなたたち)のように、ひとりで何か(なに)をすることができないのよ。」

「分(わ)かってるよ」とロシアは言いました。

「でも、もしよかったらリアムのお世話(せわ)を手伝(てつだ)ってくれないかしら。」お母さんがほほえみました。

「ほんとうに?」ロシアはたずねました。それはいい考え(かんが)だと思いました。

「わたしも?」とアリアナが言いました。

「あなたもよ」とお母さんが言いました。

少し(すこ)したって、リアムが泣き(な)だしました。お母さんがおむつ(こうかん)を交換(か)するとき、ロシアはおしり(おしり)ふきを持って来(き)ました。

「ありがとう」とお母さん(かあ)は言(い)いました。

次の日(つぎ)、リアムがお風呂(ふろ)に入(い)るとき、ロシアとアリアナは着替(き)えの服(ふく)を持(も)って来(き)ました。その服(ふく)には小さ(ち)くてかわい(かわ)い動物(どうぶつ)が(か)いてありま(あ)す! リアムに着(き)せられるよう(よう)に、二人(ふたり)はお母さん(かあ)に服(ふく)をわた(わた)しました。

「ありがとう」とお母さん(かあ)は言(い)いました。

ロシアとアリアナは、ほかにできること(こと)はないか考(かん)えました。毎朝(まいあさ)、言(い)われる前(まえ)に自分(じぶん)でベッ(べ)ドを整(ととの)えました。時々(ときどき)、お母さん(かあ)とお父さん(おとう)のベッ(べ)ドも整(ととの)えました! 夕食(ゆうしょく)の時(じ)間(かん)になると、台所(だいどころ)でお父さん(おとう)を手伝(てつだ)いました。

「ありがとう」とお母さん(かあ)とお父さん(おとう)が言(い)いました。

ロシアはリアム(リアム)が泣(な)くとあや(あ)しました。だっこ(だ)して、やさ(やさ)しい声(こゑ)で話(わ)しかけ(か)ました。リアムはま(ま)だあ(あ)りがと(と)う言(い)うこと(こと)がで(で)きま(ま)せん。でもある日(ひ)、ロシア(ロシア)ににっこり(にっこり)とほほえみ(ほほえみ)か(か)けた(け)た(た)のです!

ロシア(ロシア)もほほえみ(ほほえみ)返(かえ)しました。赤(あか)ちゃん(ちゃん)の弟(おとうと)とお母さん(かあ)とお父さん(おとう)を手伝(てつだ)えてよ(よ)かった(か)ったと思(おも)いました! ●



ロシアは家族をどのように助けましたか?